

ホストタウンサミット2021の実施報告について

1 主旨

ホストタウン自治体の取り組みの紹介の場として、内閣官房オリンピック・パラリンピック推進本部事務局主催の「ホストタウンサミット2021」(以下「サミット」)が開催された。区は、サミットに参加したので、その開催結果を報告する。

2 サミット実施概要

- (1) 目的 コロナ禍における各ホストタウン自治体の活動の情報交換や、今後の取り組みのヒントを得るとともに、大会時だけでなくその後も続く交流の発信につなげる。
- (2) 内容 ホストタウン自治体のポスターコンテスト、世界のおもてなし料理プロジェクト、ホストタウン連携プロジェクト、ライブ配信等
- (3) 開催日 令和3年2月20日(土)～21日(日)
区の参加は21日(日)9:00-10:25
- (4) 実施方式 オンラインにて実施

3 参加内容

米国のホストタウン自治体の参加による動画やモザイクアートにより、絆・繋がりを高揚感とともにアメリカを応援する演出を実施した。以下の(1)～(4)のオンライン放映の様子は別紙のとおり。

(1) オープニングムービー

ホストタウン自治体の魅力を伝える世田谷の風景などの動画や写真を放映した。
地名コール動画(参加校:世田谷小、弦巻小、松丘小、船橋希望中)
リレー動画(参加校:三宿小、笹原小、等々力小、駒留中)

(2) モザイクアート(協力依頼校:区立小・中学校、区内私国立小・中学校)

(3) 英語スピーチ発表

米国関係者とのホストタウン交流の思い出や米国選手団への応援メッセージ、今後の交流に向けた抱負などについて、英語による発表を行った。

協力者氏名:岩井 クラリス さん(桜丘中学校 中2 女性)
(令和2年度 第31回世田谷区立中学校英語スピーチコンテスト第1位)

<スピーチ要旨(日本語)>

東京2020大会の主催国に住んで、私の大会への期待は今まで以上に大きくなりました。今回、日本やホストタウンは、世界に私たちの魅力を伝える機会をいただきました。

2016年、世田谷区はアメリカ合衆国のホストタウンになりました。世田谷区の子どもたちは、水泳や野球のプログラムなどたくさんの機会を通して、アメリカ合衆国の選手と交流する機会をいただいています。私はそのプログラムの一つに参加しました。素晴らしい機会をまだ覚えていますし、絶対に忘れません。子どもたちと保護者にホストタウンについて学ぶ素晴らしい機会を与えてくれました。

ウィルスが落ち着いたら、ホストタウンのプログラムを再開し、日本とその他の国々の関係が長く続くことを願っています。おもてなしはホスピタリティという意味で、日本で大切にされています。大会のスタッフやボランティアだけではなく、日本にいる私たち皆が最高のおもてなしで選手やスタッフの方々をお迎えしたいです。

ホストタウンのプログラムは、おもてなしと交流がすべてです。大会が終わっても、日本と世界の交流は続くことを願っています。

< USOPC 関係者コメント要旨 >

すばらしいスピーチを本当にありがとう。私たちは、世田谷区がアメリカのホストタウンであることを誇りに思っています。

私の故郷はロサンゼルスで、1984年にオリンピックが開催された。そのときにも合宿会場の提供や交流の機会などにより、選手と交流することができた。当時の経験が、まさに活かされていると思っています。この動きは日本とアメリカを超えて、全世界の人々に大きな運動として広がっていくことを期待しています。

最後に、チーム USA を代表して、スピーチに感謝します。ありがとう。

(4) 米国国歌斉唱動画

世田谷区民合唱団が参加して米国国歌斉唱動画をホストタウン自治体間でリレーソングとして放映した。

4 その他

1月30日に開催された「共生社会ホストタウンサミット in 多摩川」の様子についても、今回のオンライン会場内で閲覧された。

5 今後のスケジュール (予定)

令和3年3月中旬 Light up HOST TOWN Project ホームページにて公開予定
(ホームページアドレス <https://host-town.jp/>)

1 オープニングムービー



米国ホストタウン オンラインシンポジウム



米国ホストタウン オンラインシンポジウム



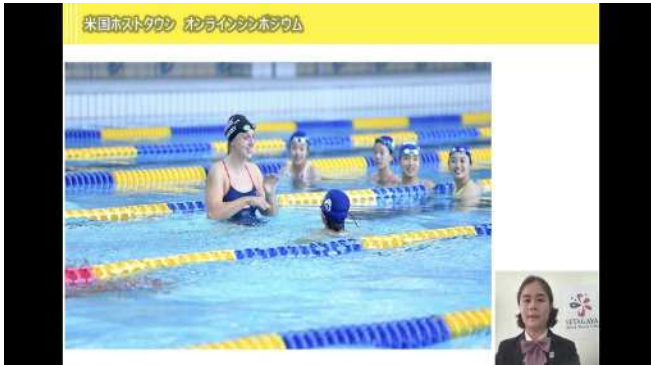
2 モザイクアート

米国ホストタウン オンラインシンポジウム



裏面あり

3 英語スピーチ



4 米国国歌斉唱

